

は じ め に

京都府立洛北高等学校


三 宮 友 志

今回の冊子はサイエンスⅠでの年間の活動をまとめたものですが、総合地球環境学研究所（以下、地球研）と京都府立洛北高等学校（以下、洛北高校）との連携は、サイエンスⅡに始まります（サイエンスⅠ、サイエンスⅡは、それぞれ洛北高校中高一貫コース第1学年、第2学年で実施されている課題探求型の授業）。私は2009年に洛北高校に赴任し、年度途中から文系のサイエンスⅡの授業を引き継ぎました。内容は環境をテーマとした学習や探究活動でした。理系のサイエンスⅡでは、近隣の大学のいくつかの研究室にお世話になり、大学で実験等をおこなわせていただき、その後も研究活動に対するサポートを受けながら研究活動を進めていました。それに対して文系では、外部講師の特別授業等は実施していましたが、研究活動に関しては外部からのサポートは全くなく、内容も調べ学習的なものにとどまっている場合が多いという状況でした。

私の前任校の京都府立北稜高等学校は「環境」を学校の特色の一つとしており、地球研が現在の場所に移転した頃から、さまざまな形で連携をさせてもらっています。そこで洛北高校でも、環境をテーマとした研究活動を行う文系のサイエンスⅡで、地球研の先生方のサポートを受けられないかと考えました。地球研のコンセプトの一つに「文理融合」があります。環境問題を考える際には、文系・理系さまざまな分野の視点が必要であり、実際に文系・理系含め多くの分野の研究者がおられ、共同研究をされています。洛北高校で環境をテーマとした研究活動を行うのは文系の生徒達ですので、文系の視点からも研究活動をサポートしてもらえないかと思い、連携をお願いした次第です。

サイエンスⅡでの連携は2010年度から始まりましたが、当初は単発で地球研の見学や、特別講義を受けるといった内容でした。その後地球研の方でも徐々に体制を整えていただき、前半は地球研の先生方による講義や演習、その後班に分かれ班ごとに研究テーマを決定し、後半は研究活動に入るという流れができあがっていきました。研究活動に入ってから、班のそれぞれの研究テーマに応じて、地球研の先生方、あるいは外部の方を紹介していただき、研究のサポートをしていただいています。2016年度には地球研と洛北高校との間で、教育協力に関する基本事項について協定を締結することができ、より緊密な協力体制が出来上がりました。

1年次のサイエンスⅠでは、2年次のサイエンスⅡでの活動の基礎となるように、物理、化学、



生物分野の基本的な実験やミニ課題研究などをおこなっていました。当初は環境分野の内容が実施できていませんでしたが、2017年度から実施するようになり、2018年度にはサイエンスⅠでも地球研の先生方に生徒の活動のサポートをしていただきました。そしてサイエンスⅠの1年間の活動をまとめたこのような冊子ができあがりました。これまでの地球研と洛北高校の連携の大きな成果の一つだと思います。今後地球研、洛北高校ともに授業担当者が変わることもあるかと思いますが、これまで積み上げてきた内容や協力体制を継続、発展させ、より充実した環境教育がおこなわれていくことを望みます。